

ビーム 中部

愛知
岐阜・石川
三重・福井
静岡・富山

平成 17 年 9 月 1 日 No.2005-2
社団法人 日本放射線技術学会
中部部会

事務局：〒920-0942
金沢市小立野 5-11-80
金沢大学大学院
医学系研究科保健学専攻内
TEL・FAX 076-265-2541
URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

会告

(社) 日本放射線技術学会中部部会
部会長 東村享治
開催委員長 川地俊明

第 40 回中部部会学術大会 開催のご案内

(社) 日本放射線技術学会第 40 回中部部会学術大会を下記の要領にて開催いたします。多数の会員の皆様にご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時： 平成 17 年 11 月 12 日 (土), 13 日 (日)

会場： 大垣市スイトピアセンター (音楽堂・スイトピアホール)

〒503-0911 岐阜県大垣市室本町 5-51 TEL 0584-74-6050

URL <http://www.city.ogaki.gifu.jp/kurashi/shisetu/085index.htm>



問い合わせ先：

大垣市民病院 川地俊明 TEL 0584-81-3341 e-mail hosp2@omh.ogaki.gifu.jp

第 40 回中部部会学術大会

= プログラム予定 =

■11月12日(土)

○特別講演

胸部CT 検診の現状と今後の展望 国立がんセンター中央病院副院長 土屋了介 先生

○教育講演 I

患者さんに優しい一般撮影法 立花外科 矢野雅昭 先生

○ワークショップ(1)【認定技師制度を考える】

学会認定技師取得の立場から

超音波検査士 秋山敏一 (藤枝市立総合病院)

胃がん検診専門技師 村田浩毅 (四日市健診クリニック)

乳房撮影認定技師 西出裕子 (福井県立病院)

放射線治療専門技師 高木 等 (大垣市民病院)

核医学技術者認定技師 杉本勝也 (福井大学)

コメンテーター

日本放射線技術学会 増田一孝 (滋賀医科大学)

日本放射線技師会 山森和美 (常務理事)

○ランチョンセミナー

高次脳機能のイメージング 木澤記念病院中部療護センター 奥村 歩 先生

○各研究会

CT/MR 合同, 乳房画像, 放射線防護, 放射線治療, 医療情報システム

○会員研究発表 ○中部部会年会 ○懇親会

■11月13日(日)

○教育講演 II

ビギナーのための乳房画像 公立学校共済組合東海中央病院 長尾康則 先生

○ワークショップ(2)【多列CT(64列)テクノロジーと臨床応用】

土岐市民病院 (GE 64 列) 小田祥資

名城病院 (東芝 64 列) 山田誠一

富山医科薬科大学 (シーメンス 64 列) 伊藤 一

○ランチョンセミナー

肝腫瘍における診断と治療の戦略と選択 大垣市民病院消化器科 豊田秀徳 先生

○会員研究発表

(社) 日本放射線技術学会中部部会 学術大会演題募集要項

以下のように学術大会会員発表の演題を募集致します。会員の皆さまの多数の演題申込をお待ち致しております。

1. 発表方法 (Windows の CD 又は USB メモリ持参によるパソコン発表をお願い致します)

- 1) 発表時間 口述 7 分以内 + 質疑応答 3 分以内とします。
- 2) パソコン + 液晶プロジェクタ 一面映写のみ。
発表者はプレゼンテーションを保存した『CD 又は USB フラッシュメモリを持参してください。』プレゼンテーションファイルは『Windows の Power Point』で作成してください。その際、特殊なフォントは使用しないで下さい。動画使用の場合、再生できないケースがありますので、ご自身のパソコンをお持ちの上、ご発表下さい。Machintosh の方も同様にご持参下さい。発表会場のプロジェクターは SVGA (800 × 600), 60Hz 対応で、入力端子は VGA コネクタ (ミニ D-SUB15 ピン) です。機種によってはパソコンとプロジェクタの 2 画面同時出力ができなくなりますのでスライドノートなどを利用したい方は、プリントアウトして持参してください。接続がうまく行かなかった場合、発表時間の延長は行いません。
- 3) スライド、VTR は使用できません。パソコンを用いて対応してください。

2. 応募方法

- 1) 応募資格は、中部部会正会員および学生会員です。
まだ会員になられていない場合は、演題申込と同時に入会手続きを行って下さい。
入会申込は技術学会のホームページ (http://www.jsrt.or.jp/web_data/nyukai.html) より行ってください。
- 2) 演題申込は中部部会のホームページ (<http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>) より行ってください。(本年度よりホームページ受付のみとなります)
- 3) 発表演題抄録:【目的】【方法】【結果】【考察】を 300~400 字で簡潔にお書き下さい。これは事前に座長に送付すると共に、部会ホームページに掲載する予定です。
- 4) 受領確認: 演題申し込みが完了した方には受領通知を 3 日以内にメールします。もし受領確認の連絡がない場合には部会事務局までご連絡ください。
- 5) 学生会員の場合は指導教員の連絡先を記載して下さい。

3. 申込締切 2005 年 9 月 20 日 (火) 24 : 00

4. 演題登録 URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

演題申込に関するお問い合わせは、部会事務局 (jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp) まで電子メールでお尋ね下さい。

会告(部会共催企画)

第18回コンピュータ支援診断(CAD)セミナー：中級編

学術委員会
画像分科会
中部部会

日時：平成17年9月10日(土)13:00~17:00, 11日(日)9:30~18:00

会場：〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学工学部応用情報学科演習室および、会議室
交通手段はセミナーのウェブページ:<http://www.fjt.info.gifu-u.ac.jp/cad-sem>を参照ください。

内容：3次元画像処理に向けて

○演習(画像表示, 領域分割, CT画像への応用など)

○教育講演 九州大学医学部保健学科 杜下 淳次

参加費：無料。ただし、学会会員・学生会員に限る。事前申し込み必要。

受講対象者：これまでにCADセミナーを受講したことのあるC言語プログラミング経験者
問い合わせ先：岐阜大学大学院医学系研究科 原 武史

〒501-1194 岐阜市柳戸1-1 医学部研究棟 8S23

TEL 058-230-6511 FAX 058-230-6514 E-mail hara@info.gifu-u.ac.jp

第10回核医学技術研修会

核医学分科会
中部部会

テーマ：「放射性医薬品の体内動態を探访する！！」

日時：平成17年10月1日(土)9:30~18:30, 2日(日)9:30~14:40

会場：金沢大学医学部保健学科(金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻)

動物実験のみ金沢大学学際実験センター(アイソトープ総合研究施設)

〒920-0942 石川県金沢市小立野5-11-80(保健学科ホームページ:<http://mhs3.mp.kanazawa-u.ac.jp/>)

問い合わせ先：電話 076(265)2526(小野口直通), e-mail: onoguchi@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

費用：15,000円(昼食代含む)

定員：16名(日本放射線技術学会会員に限定)。事前申し込み必要。

宿泊：こちらでは斡旋致しませんので各自で予約して下さい。

講義Ⅰ：金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻の大学院講義や研究室の紹介

講義Ⅱ：実験動物モデルの実験の進め方(仮題)

実習：実験動物を用いて放射性医薬品の特徴や体内動態を探り、さらに、ガンマカメラによる計測値と実測値を比較、検討します。

詳細は<http://jsrtscnm.umin.jp/semi10th/top.htm>を参照してください。

平成 17 年度市民公開シンポジウム

(社)日本放射線技術学会
医療放射線防護連絡協議会
(社)日本放射線技術学会中部部会

放射線診療は、いまや医療分野では不可欠なものになっています。しかし、放射線について一般市民の方々は残念ながら正しく理解されていないのが現状です。特に放射線被ばくに対する不安や疑問を抱いている方を多く見受けます。日本国民は、広島・長崎の原子爆弾や原子力発電所事故のイメージで「放射線＝危険」という先入観を持っている方が多い上に、放射線治療に伴う事故や、X線診断を受ける患者さんの被ばくによってのがん増加などが、最近多くのマスメディアで報道されており、更なる不安と誤解を招いています。医療における被ばくは特に患者さんの便益が放射線によるリスク（損失）を上回る事を大前提に考え行われている行為です。

患者さんひとりひとりが医療における被ばくを理解して、安心して放射線診療を受けて頂くため、14 回目を迎える今回は「病院における放射線の被ばくを考える」をテーマに、「患者さんの受ける線量とは」について、医療関係者と患者さんが同じ目線でディスカッションできる市民公開シンポジウムを開催いたします。

テーマ：「病院における放射線の被ばくを考える」

日 時：平成 17 年 11 月 26 日（土） 13:00～16:30

参加費： 無料

会 場：フェニックスプラザ 〒910-0018 福井市田原 1-13-6 (TEL：0776-20-5060)

後 援：日本医学放射線学会、日本核医学会、日本核医学技術学会日本画像医療システム工業会、日本アイソトープ協会、福井県、福井県医師会、福井県歯科医師会、福井県看護協会、日本助産師会福井県支部、福井県放射線技師会、福井市、朝日新聞、NHK 福井放送局、福井放送、(他数団体後援依頼中)

内 容：

第 1 部 基調講演 1 「医療の放射線利用に伴う患者さんの被ばく」

古賀佑彦(藤田保健衛生大学名誉教授)

基調講演 2 「放射線診療は患者さんになぜ必要か」

伊藤春海(福井大学医学部長)

第 2 部 パネルディスカッション 一患者さんの受ける線量とは一

- ・人が放射線を被ばくすることとは 佐久間洋一(核融合科学研究所)
- ・診療放射線技師の立場から 西出裕子(福井県立病院)
- ・患者さんの立場から 家出俊博(福井市在住)

第 3 部 質問と討論

司会：加藤英幸(千葉大学医学部附属病院)、大野和子(愛知医科大学)

本件に関する担当：千葉大学医学部附属病院放射線部 加藤英幸(katohide@ho.chiba-u.ac.jp)
〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 TEL：043-226-2335 FAX：043-226-2338



研究会のご案内

MR 研究会

～これで良いのか?!ルーチン検査・頭部領域編～

最近の MR 技術の最新動向を見てみますと、脳幹部の拡散強調画像をもとに PET のような画像が得られる DWIBS、非造影・安静呼吸下で心臓全体の冠動脈 MRA が得られる Whole Heart MRCA、多チャンネルコイルを使用して全身を高 S/N・高分解能で撮像する Whole Body MRI などの記事が目を引きまします。また 3T 全身撮像用装置の認可など、数年前までは考えられなかったことが現実のものとなってきており、ルーチン検査そのものが大きな変貌を遂げつつあります。

頭部において、Diffusion・Perfusion など EPI を用いた検査は高磁場装置ではルーチン検査の中の一つと考えると良いほど普及している一方、古い装置や低磁場装置（一部の最新機種を除く）では EPI の撮像が出来ないのが現状です。実際の臨床現場では一口にルーチン検査と言っても、装置や診療科の違いなどにより、ルーチン検査のプロトコールは様々に異なってくるものと思われます。臨床現場の医師はルーチン検査にどのような画像を求めているのか？また医師が求める画像を得るために、我々技師は装置の性能を最大限に引き出したうえでどのようなことを心掛け、また注意すべきか？ということを目ざし、前回の“これで良いのか?!ルーチン検査・整形領域編”に引き続き、今回は MR 検査の中でもっとも頻度の高い頭部検査にスポットを当てて見ました。

また、セミナーの最後に東芝メディカルより“最新の MR トピックス”と題した講演も予定しております。多数のご参加をお待ち申し上げます。

日時：平成 17 年 9 月 3 日(土)14:00～17:00

会場：石川県立中央病院 健康教育館

- プログラム予定 -

○臨床講演(医師) 14:10～15:30

1. ルーチン検査において放射線科医師が必要とする MR 画像 金沢医科大学病院 放射線診断治療学助教授 嶋場宗孝

2. 神経内科医が必要としている MR 画像とは？
石川県立中央病院 神経内科 坂尻顕一

○技術講演(技師) 15:40～16:20

1. ルーチン検査における注意点・一工夫(低磁場・旧型装置編) 金沢市立病院 安土佳宏
使用機種：SIEMENS MAGNETOM IMPACT 1.0T

2. ルーチン検査における注意点・一工夫(高磁場・最新装置編) 福井大学病院 藤原康博
使用機種：GE SIGNA Excite 1.5T, VH/i 3.0T

○メーカー講演 16:30～17:00

最新の MR トピックス

東芝メディカルシステムズ(株) 中部支社
営業推進部 MR 担当 横山喜克

問合せ先：担当世話人 金沢医科大学病院 平田恵哉

Tel 076-286-3511 (内線5300)

世話人代表 富山医科薬科大学附属病院 森 光一

Tel 076-434-7814

第 25 回画像研究会

デジタル画像物理測定セミナー(実習形式)

第 1 回「入出力特性」

デジタル機器の普及時代を迎えて、画像研究会は今後、ビギナーズデジタル画像物理測

定セミナーを実習形式にてシリーズで開催していきます。今回は、第一回目として「入出力特性」の測定セミナーを開催します。実習形式であるため人数に制限がありますので、事前受付形式にて行います。精度管理が重要視される昨今、画質の定量的測定法は、習得の必要性の高い技術です。(8/31 申し込み締め切り済み)

日時：平成 17 年 9 月 17 日(土)14:30～17:00
会場：名古屋市立大学 中央診療棟 4 階 第一会議室 *地下鉄桜通線 桜山駅下車

内容：

「ビギナーズデジタル画像物理測定 1・デジタル画像の入出力特性の測定」

1. 「解説」CR・FPD のタイムスケール法によるデータ取得方法 (スライド形式)
2. 「演習」フリーソフト (Image J) を用いた CR・FPD のデータ解析

募集人数：20 名 (定員に達しましたら、締め切らせて頂きます。)

受講対象者：デジタル画像物理測定の初学者。

受講時にノート PC (Windows) を持参可能な方。

問合せ先：

名古屋市立大学病院 中央放射線部 國友まで

E-Mail rakunny@med.nagoya-cu.ac.jp

CT 研究会

「CT ビギナーズセミナー in 石川」のご案内

この度中部部会 CT 研究会では恒例の CT ビギナーズセミナーを開催いたします。

CT 撮影に携わる初心者の方々や当直などの救急業務でのみ CT 撮影をされる方々を対象に、これだけは知っておきたい原理・物理特性、また実際の症例を挙げて依頼内容から考える部位別撮像法・画像解剖についてわかりやすく解説します。日ごろ疑問に思うことなどもありました

ら、是非この機会に質問してみたいかでしょうか？ 多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成 17 年 10 月 2 日 (日) 9:00～16:30
場所：石川県立中央病院健康教育館 2F 大研修室
募集人数：50 名

参加費：2000 円 (昼食代含む)

申し込み方法：E-mail chubu_ct@hotmail.com

(電子メールでお願いします。所属、氏名、連絡先、本人のメールアドレス、経験年数、使用装置を明記の上、申し込みをお願いします。)

締切り：平成 17 年 9 月 15 日 (木)

【プログラム】

1. CT 用語解説 9:00～9:30
2. これだけは知っておきたい CT の基礎原理・物理特性 9:30～10:30
3. これだけは知っておきたい CT の基礎造影 10:40～11:20
4. これだけは知っておきたい CT の基礎被曝 11:20～12:00
5. 現場で役立つ撮影方法 13:00～16:30
頭頸部、呼吸器、腹部、骨盤、整形、血管系

問い合わせ先：

金沢大学医学部附属病院放射線部 高田忠徳

TEL 076-265-2000(内線 3344) FAX 076-234-4311

E-mail t.takata@rad.m.kanazawa-u.ac.jp

第 18 回乳房画像研究会

日時：平成 17 年 11 月 12 日 (土) 10:30～12:00

会場：大垣市スイトピアセンター

内容：講演

『乳がん診療におけるマンモグラフィーの役割

(仮題)』名古屋医療センター外科 林孝子先生

問い合わせ：長尾 康則 (東海中央病院)

第 19 回乳房画像研究会

日時：平成 17 年 11 月 26 日（土）14:00～19:00

会場：浜松医科大学附属病院

内容：講演など

研究会(案):『デジタルマンモグラフィについて
(デジタル画像の現状確認と現場でできるよ
り良い画像構築についての各社から提案)』
問い合わせ：井美恵美子(浜松医科大学附属病院)

第 8 回放射線治療研究会

日時：平成 17 年 11 月 12 日（土）10:30～12:00

場所：岐阜県大垣市スイトピアセンター

内容：

1. アンケート報告

放射線治療品質管理士に関するアンケート調査
袋井市民病院 佐々木浩二 君

2. 講演

放射線治療認定技師における「教育・役割・学
会・今後」の諸問題

岐阜医療技術短期大学 内山幸男 先生

3. ディスカッション

放射線治療品質管理士，放射線治療専門技師，
医学物理士について

情報交換の場となるような開催内容としていく
予定です。今回は，非常に高名な御二人の講師
を迎え，有益な情報満載の内容となっております。
多数のご参加を，お願い申し上げます。

日時：平成 17 年 9 月 10 日（土）14:00～18:00

場所：名古屋銀行協会 2 階 会議室 201 号室
名古屋市中区丸の内 2-4-2 (地下鉄桜通線・鶴舞
線 丸の内駅 1, 4 番出口徒歩 6 分) 052-231-7851

プログラム (予定)

1. 講演 1 14:10～15:00

「3D 画像作成のコツ，勘ドコロ」(エキスパー
トのための 3D 作成技術解説)

広島大学医学部附属病院 石風呂 実 先生

2. 講演 2 15:10～16:00

「CT 装置の常識を覆す！ーエキセントリック
ユーザーの挑戦ー」(サブミリスライス，スライ
ス面高分解能化，極低線量撮影などの開発秘話)

札幌耳鼻咽喉科麻生病院 宮下 宗治 先生

3. シンポジウム

「フィルムレス環境と CT」 16:10～18:00

今後，次々とフィルムレス環境に変更される
であろう状況の中で，CT を使う我々が直面する
問題は何か，4 名のパネリストの講演と討論で
明らかにします。

「フィルムレス導入苦労話，使用経験，問題点」

・東海市民病院 山田篤人 先生

・静岡ガンセンター 明保佳太 先生

・名古屋市立大学病院 大橋一也 先生

「フリーソフトによる Web サーバー構築と読影環境」

・名古屋東市民病院 林 建佑 先生

*セミナー終了後，情報交換会を予定しており
ます。

関連研究会のご案内

CT テクノロジーフォーラム東海

第 1 回セミナー

主催：エーザイ株式会社

代表世話人 市川勝弘

このたび，東海地区（静岡を含む）の〝活気あ
る CT 関係の放射線技師の集い〟として，「CT テ
クノロジーフォーラム・東海」が結成され，9
月 10 日に第 1 回セミナーが開催される運びとな
りました。当フォーラムは，Basic セミナーを
中心として，現場に役立つ基礎的な情報提供，

(社)日本放射線技術学会中部部会
ビーム中部 2005 年度 第 2 号
発行：東村享治
編集：小山修司，石森佳幸